

---

# 君が世界をすくうまで

光野 亜寺

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君が世界をすくうまで

### 【Nコード】

N0719S

### 【作者名】

光野 亜寺

### 【あらすじ】

君が世界をすくうまで、僕は君の、側にいる。

君は走っていた。

ただひたすらに走っていた。

それは何の為か、君はそれさえ解らず走っていた。

そして辿り着く。焼けるような、煮えるような使命感に突き動かされて、長い長い、永遠に続くかと思われるような螺旋階段を登り詰め、君は最上階のその部屋に辿り着いたのだ。

そこには、可愛らしい女の子がいた。年齢十四、五だろうか。丁度君と同じくらいの年頃だ。

女の子は鎖に繋がれていた。腕が、脚が、胴が、首が、鋼鉄で出来た鎖に、堅牢な鎧のような鎖に、巻き込まれていた。

女の子は君に気づいて、口から音を奏でる。

「  
」

しかし君にはその言葉の意味は解らず、ただの音色にしか聴こえない。

繊細な硝子のようなその声は、意味を解さなくても一つの歌声のようにさえ聴こえたのだ。

君はその声に酔い、その唇に見蕩れ、その姿に惚れ込んだ。

困ったように、悲しむように、何かを訴える女の子。しかしそれは君には届かない。

しかし、君は考えた。ここは町外れにある立ち入り禁止の古びた塔。きつと女の子は閉じ込められているんだ。可哀想に、君以外に人は来るはずもなく、一体どれだけの間女の子は縛られているのだ

ろつ。

……こんな可哀想な女の子を、放っておけるはずもないよね？  
君は腰に差した両刃の剣を抜いた。両親の形見であり、君の持つ唯一の高級品であり、最高の切れ味を持った一品だ。これならば、あの頑丈さが売りとも言えそうな鎖も問題あるまい。

なら、することは一つだろう。

「君を、助けてあげる」

幼い頃に両親を亡くし、ありとあらゆる誹謗中傷を受け続け、誰の役にもたたず、誰の助けにもなれなかった憐れな君。

しかし今君は、生まれて初めて人を助けようとしている！  
何かの声に促されるように、君は刃を振り上げた。

「！  
「！」

女の子は音色を奏でる。美しい声。君は微笑み、待っててね、助けてあげると約束する。

そして。

その剣は。

降り下ろされた。

そして。

鎖は切れた。

全く、君の剣は見事な切れ味だ。

ありがとう。

僕は嬉しいよ。

女の子は泣いている。

何かをずっと、叫んでる。

“ 僕の声に従って ”、女の子を助けた君に、何かをずっと訴えて  
いる。

……ああ、もういいか。

僕は君の耳にかけた魔法を解いてあげる。

そして君は、彼女の歌った言葉の意味を知った。

「私を助けてはダメ  
ダメ  
止めて  
!」  
「!」

「!  
!」

君は驚く。

女の子の言葉の意味と。

今日の前の光景に。

……女の子から、黒く、禍々しい、世界を蝕む霧が吹き出している。

間もなくそれは世界中に充満して。

ああ、世界はおしまいだ。

ありがとう、君のおかげで、女の子の、魔王の娘の封印は解かれた。

ただ存在するだけで“世界を巢食う”、疫病神の封印を。

まあ“命を喰らう”死神が言うのも、なんだけどね。

「っ……！」

君は喉を押さえて地に転がる。

とても苦しそくに身悶える。

霧を吸ってしまったね。

じゃあ、あと数秒の命だ。

それじゃ。

さよなら。

憐れな君よ。

……ああ、もう死んでいるか。  
悲しいなあ。

さて、それじゃあさっそく。

「いただきます」

“君が世界を巣食うまで  
おしまい”



(後書き)

一発書きの短編。  
以下裏話。

世界観はありきたりなファンタジー。

魔法が異常に発展し、人が死ぬことは無くなった。

“僕”は“君”に取り付いてた死神で、死神は食料(魂)に飢えていた。

“君”の両親が不死の魔法を作った魔法使いであり、その恨みで死神が憑いていた。(両親は魔法の代償に死んだ)

死神が憑いてる故に“君”は迫害を受けた。(本人は無自覚)

“女の子”は魔王の娘。世継ぎになれず魔界から捨てられた。

生きているだけで魔界の“霧”を振り撒き、地上の生命を殺す生き物。

性格は悪魔らしからぬ善性。

“女の子”を封印したのは所謂勇者で、“君”がしたことは魔王の所業。

そんなバッドエンドありきの短編でした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0719s/>

---

君が世界をすくうまで

2011年3月31日21時26分発行